



サバ川対岸から見たベオグラード旧市街

在セルビア日本大使館

2023年6月

# 日本企業のためのセルビア関連情報

Copyright (c) 在セルビア日本大使館 All right reserved.  
禁無断転載・転用

# 目次

位置と地理	3	為替レート	23
基礎データ	4	法人税・付加価値税	24
略史	5	セルビアに進出している主要外国企業	25
政治体制	6	日本企業進出状況	26
セルビア要人	7	セルビア日本商工会	28
議会勢力図	8	日・セルビア経済関係の最近の主な動向	29
セルビア政府閣僚名簿	9	セルビア投資のメリット	30
セルビアを取り巻く国際政治状況	10	周辺市場へのアクセス	34
経済概況	13	セルビアから見た日本	36
貿易	16	相談窓口	37
人口	20		
治安	21		

# 位置と地理

- ◇ヨーロッパの南東、バルカン半島に位置する内陸国。
- ◇主要都市：首都ベオグラード、北部ボイボディナ自治州の州都ノビ・サド、南部の中心ニシュ。
- ◇ドナウ川が東西に流れ、ベオグラードでサバ川と合流する。



# 基礎データ

面積: 77,474平方キロメートル(北海道とほぼ同じ)

人口: 約683万人(2021年セルビア統計局)

首都: ベオグラード(人口169万人)

民族: セルビア人(83%)、ハンガリー人(4%)等(2011年国勢調査)

言語: セルビア語(公用語)、ハンガリー語等

文字: キリル文字(公用文字)、ラテン文字を併用

宗教: セルビア正教(84%、セルビア人)、カトリック(5%、ハンガリー人等)、  
イスラム教(3%)等

通貨: ディナール(1ディナール=約1.2円)

# 略史

日・セルビアの二国間交流は、1882年に明治天皇とミラン・オブレンオビッチ・セルビア国王が書簡を交換したことから開始され、2022年には日・セルビア友好140周年を迎えました。

紀元前3世紀	ケルト族が支配。
紀元前1世紀頃	ローマ帝国が支配(現セルビア領内で18人のローマ皇帝誕生)。
5世紀末	東西ローマ分裂後は、ビザンチン帝国が支配。
6～7世紀	セルビア人等スラブ系民族がバルカン半島に定住、キリスト教(セルビア人は正教)を受容。
12世紀	セルビア王国建国(現在のコソボを含むセルビア南西部が中心)、14世紀のドゥシャン王の時代に大いに栄える(コソボは「セルビア民族揺籃の地」)。
1389年	オスマン帝国に敗北(「コソボの戦い」)、その支配下となる。
1878年	ベルリン条約によりセルビア王国の独立承認。
1918年	第一次世界大戦後、「 <u>セルビア人・クロアチア人・スロベニア人王国</u> 」(後、「 <u>ユーゴスラビア王国</u> 」)建国。
1941年	第二次世界大戦中、ナチス・ドイツによる占領。ユーゴスラビア王国消滅。
1945年	「 <u>ユーゴスラビア連邦人民共和国</u> 」(6共和国で構成、1963年に「 <u>ユーゴスラビア社会主義連邦共和国</u> 」に改名)の1共和国となる。
1992年	ボスニア紛争などによるユーゴ解体の中で、モンテネグロとともに「 <u>ユーゴスラビア連邦共和国</u> 」を建国。
1999年	コソボ紛争により、NATO空爆を受ける。コソボが国連の暫定行政下となる。
2003年	「 <u>セルビア・モンテネグロ</u> 」に国名変更。
2006年	モンテネグロの独立(6月)により、「 <u>セルビア共和国</u> 」となる。
2008年	コソボがセルビアからの独立を宣言(2月)。
2014年	EU加盟交渉開始(1月)。

# 政治体制

1. 立憲共和国(憲法2006年11月制定)
2. 議院内閣制(一院制、250議席、任期4年、  
全国一区の拘束名簿式比例代表制、  
選挙権18歳以上、被選挙権18歳以上)
3. 大統領制(任期5年、直接選挙、軍統帥権など形式的権限のみに限定)
4. 政府(大統領が指名、首相が組閣、議会在承認)
5. 三権分立(司法は、最高裁判所を最終審とする三審制。別途、憲法裁判所あり)
6. 地方自治(ボイボディナ自治州、27市、147町村)

# セルビア要人



アナ・ブルナビッチ首相  
(Ms. Ana Brnabić)

1975年9月28日生(47歳)  
ハル大学(英国)MBA取得

## 略歴

- 2002年 複数の米国系コンサル企業にて米国国際開発庁(USAID)実施事業に従事
- 2011年 Continental Wind Serbia(CWS)社(米国系風力発電関連企業)に入社
- 2013年 CWS社社長に就任
- 同年 セルビア地方経済開発連合(NALED:National Alliance for Local Economic Development)運営委員会副議長
- 2016年3月 NALED運営委員会議長に就任
- 2016年8月 セルビア共和国行政・地方自治大臣
- 2017年6月 セルビア共和国首相
- 2019年10月 即位の礼出席のため訪日
- 2022年9月 セルビア共和国首相再任  
安倍元総理国葬出席のため来日



アレクサンダル・ブチッチ大統領  
(Mr. Aleksandar Vučić)

1970年3月5日生(53歳)  
ベオグラード大学法学部卒

## 略歴

- テレビ局での勤務を経て、
- 1993年 セルビア急進党(SRS)に入党
- 1994年 SRS事務総長
- 1996年 “ピンキー”スポーツセンター所長
- 1998年 情報大臣
- 2000年 ユーゴスラビア議会議員
- 2004年 セルビア議会議員
- 2008年 セルビア進歩党(SNS)副党首
- 2012年5月 SNS党首代行
- 2012年7月 セルビア共和国第一副首相兼国防相
- 2012年9月 SNS党首
- 2013年9月 セルビア共和国第一副首相
- 2014年4月 セルビア共和国首相
- 2017年5月 セルビア共和国大統領
- 2022年5月 セルビア共和国大統領再選
- 2023年5月 SNS党首辞任



ブラディミル・オルリッチ国民議会議長  
(Dr. Vladimir Orlić)

1983年4月15日生(40歳)  
ベオグラード大学電気工学部卒(博士)

## 略歴

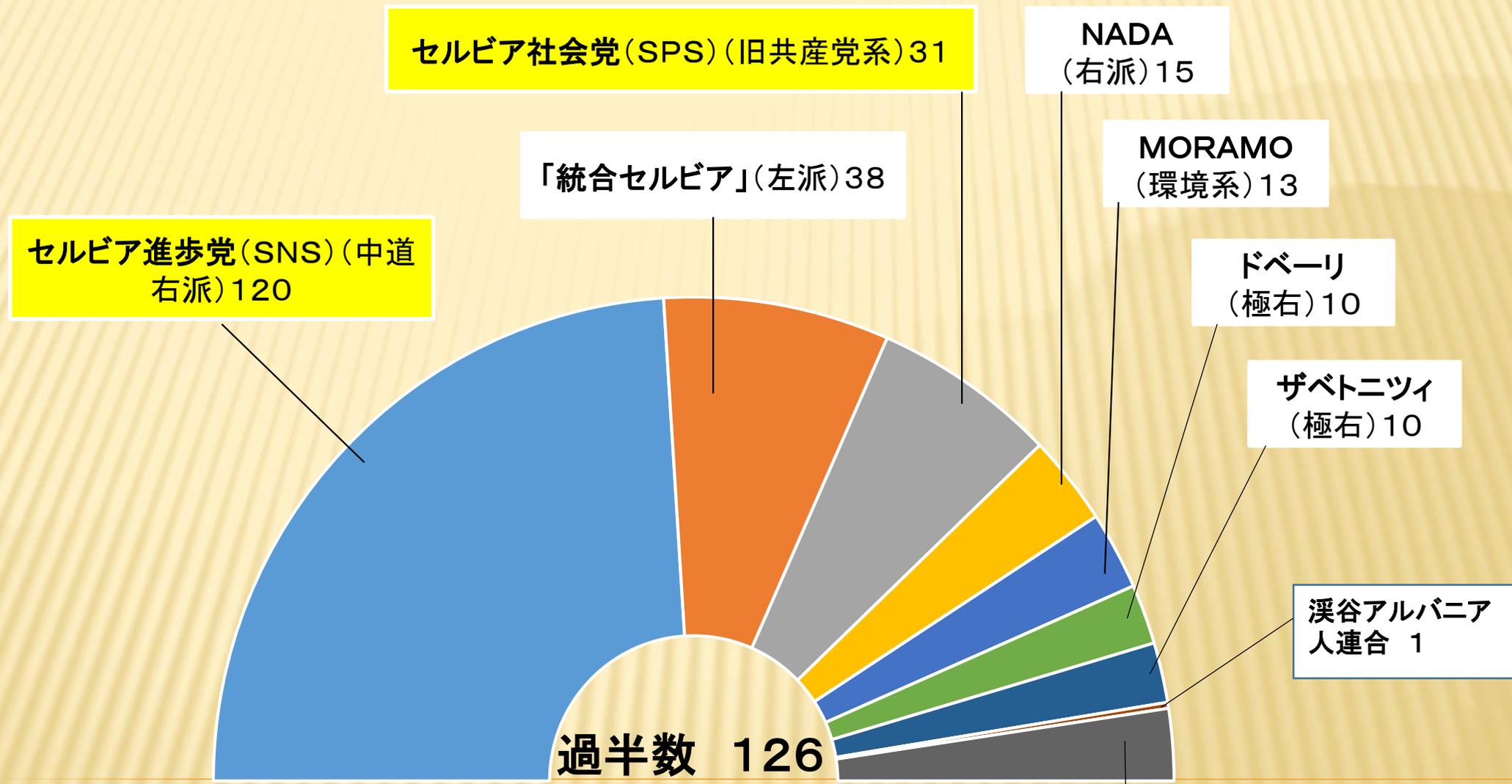
- エンジニア職等を経て、
- 2008年 SNS入党
- 2014年 国民議会議員初当選  
(その後16年、20年、22年に再選)
- 2016年 議会SNS会派副会長
- 2016年 ベオグラード市議会議員  
(国民議会議員と兼務。～22年)
- 2020年 国民議会副議長
- 2021年 SNS副党首
- 2022年8月 セルビア共和国国民議会議長

# 議会勢力図

(2022年4月総選挙実施)

## 定数: 250 (政権与党総数163、野党総数87)

黄色塗りつぶしは政権与党



少数民族政党 12  
内訳: ボイボディナ・ハンガリー人同盟(5)、正義と和解の党(ボシュニャク系)(3)、ともにボイボディナのために(クロアチア系)(2)、サンジャク民主行動党(ボシュニャク系)(2)

# セルビア政府閣僚名簿

1. アナ・ブルナビッチ首相 (Ms. Ana BRNABIĆ)
2. イビツァ・ダチッチ第一副首相(外交・安全保障担当)兼外務大臣 (Mr. Ivica DAČIĆ)
3. シニシャ・マーリ副首相兼財務大臣 (Mr. Siniša MALI)
4. ミロシュ・ブチェビッチ副首相兼国防大臣 (Mr. Miloš VUČEVIĆ)
5. マヤ・ゴイコビッチ副首相兼文化大臣 (Ms. Maja Gojković)
6. ラデ・バスタ経済大臣 (Mr. Rade BASTA)
7. イェレナ・タナスコビッチ農林・水利大臣 (Ms. Jelena TANASKOVIĆ)
8. イレナ・ブーヨビッチ環境保護大臣 (Ms. Irena VUJOVIĆ)
9. ゴラン・ベシッチ建設・運輸・インフラ大臣 (Mr. Goran VEŠIĆ)
10. ドゥブラブカ・ジエドビッチ鉱業・エネルギー大臣 (Ms. Dubravka Đedović)
11. トミスラヴ・モミロビッチ通商大臣 (Mr. Tomislav MOMIROVIĆ)
12. マヤ・ポポビッチ法務大臣 (Ms. Maja POPOVIĆ)
13. アレクサンダル・マルティノビッチ行政・自治大臣 (Dr. Aleksandar MARTINOVIĆ)
14. トミスラヴ・ジグマノヴ人権・少数民族・社会対話大臣 (Mr. Tomislav ZIGMANOV)
15. ブラティスラヴ・ガシッチ内務大臣 (Mr. Bratislav GAŠIĆ)
16. ターニャ・ミシュチェビッチ欧州統合大臣 (Dr. Tanja MIŠČEVIĆ)
17. 教育大臣(ブランコ・ルジッチ前教育大臣の辞任に伴い現在空席)
18. ダニツァ・グルイチッチ保健大臣 (Dr. Danica GRUJČIĆ)
19. ニコラ・セラコビッチ労働・雇用・傷痍軍人・社会問題大臣 (Mr. Nikola SELAKOVIĆ)
20. ダリヤ・キシッチ家族福祉・人口統計大臣 (Dr. Darija KISIĆ)
21. ゴラン・ガイッチスポーツ大臣 (Mr. Zoran GAJIĆ)
22. ミラン・クルコバビッチ地方福祉大臣 (Mr. Milan KRKOBABIĆ)
23. イェレナ・ベゴビッチ科学・技術開発・イノベーション大臣 (Dr. Jelena BEGOVIĆ)
24. フセイン・メミッチ観光・青年大臣 (Mr. Husein MEMIĆ)
25. ミハイロ・ヨバノビッチ情報通信大臣 (Dr. Mihajlo JOVANOVIĆ)
26. マルコ・ブラゴイエビッチ公共投資大臣 (Mr. Marko BLAGOJEVIĆ)
27. ノビツァ・トンチェヴ無任所大臣 (Mr. Novica TONČEV)
28. ジョルジェ・ミリチェビッチ無任所大臣 (Mr. Đorđe MILIĆEVIĆ)
29. エディム・ジェルレク無任所大臣 (Mr. Edim ĐERLEK)

# セルビアを取り巻く国際政治状況 1

EU、米、露、中を外交の4本の柱と位置づけたバランス外交



## EU

- ・セルビアは、EU加盟を最重要目標とし、国内改革を推進。EU、米国と共に日本もこれを支援。
- ・2014年1月に加盟交渉開始。2023年4月現在において、35章中22章について交渉開始済み、うち科学・研究、教育・文化の2章につき交渉を暫定終了。2020年7月、プッチ大統領は、加盟交渉の新方式を受け入れることを発表し、2021年12月、新方式において初となる新規の章の交渉を開始。
- ・EU仲介によるセルビア・コソボ間の対話が継続中。ただし、EU加盟国のうち5か国はコソボ未承認。



## 米国

- ・ユーゴ紛争、コソボ紛争では敵対。
- ・NATOによる空爆を経験した年代の一部には、依然として反米感情が根強い。
- ・2020年9月には米国の仲介でコソボと「経済関係正常化」で合意。



## 中国

- ・近年急速に関係が緊密化。2016年6月に習近平中国国家主席がセルビアを訪問、「包括的戦略パートナーシップ」に署名。
- ・中国輸出入銀行からの借款による大型インフラ案件（ベオグラード・ブダペスト高速鉄道、高速道路建設、コストラツ火力発電所建設等）。
- ・中国企業による国営企業の買収（スメレボ製鉄所、ボール鉱山）。
- ・中国はコソボ未承認⇔セルビアは「1つの中国」を支持。
- ・セルビアは一带一路などに積極的に参加。



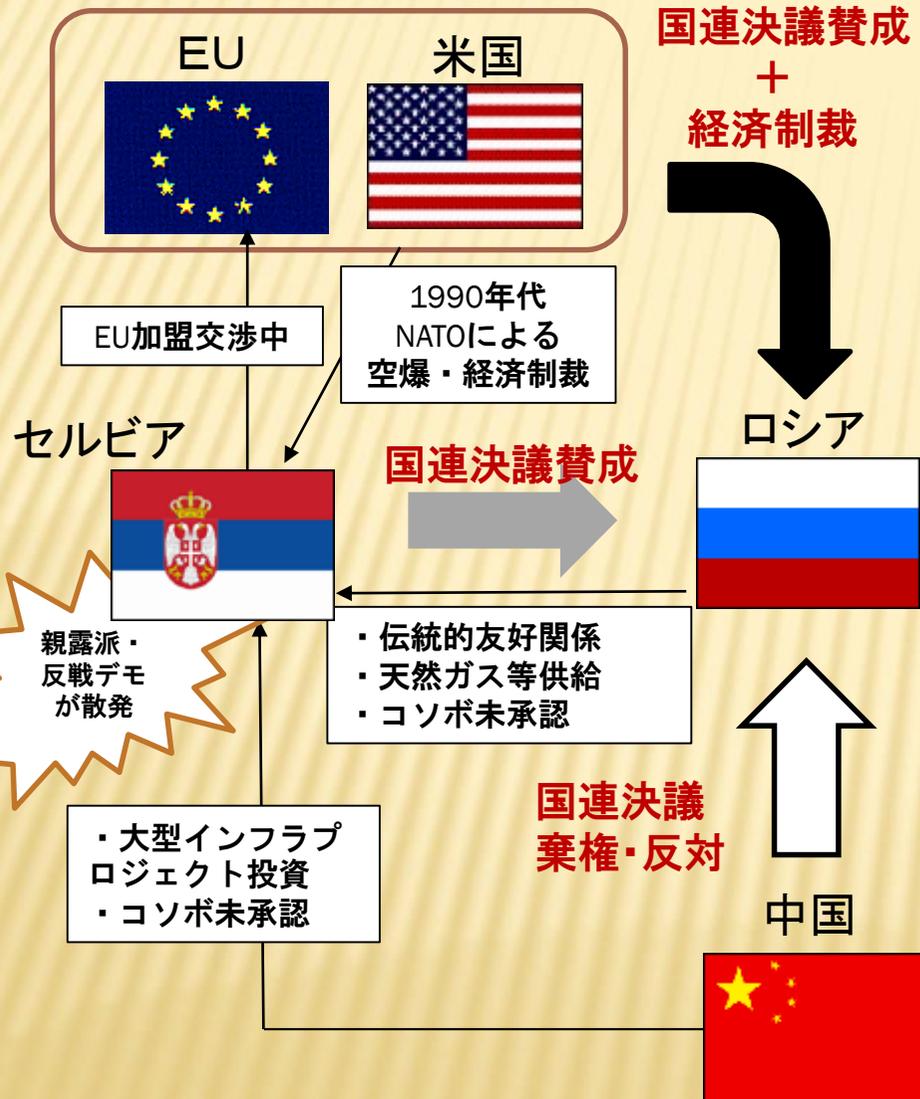
## ロシア

- ・エネルギー（ガス供給）でロシアに依存。
- ・同じスラブ民族、正教会という文化的背景から、親露的な国民が多い。
- ・ロシアはコソボ未承認。
- ・セルビアは、ウクライナ問題で国連対露非難決議には賛成したが、現状制裁には参加せず。

# セルビアを取り巻く国際政治状況 2

2022年2月ロシアによるウクライナ侵攻後の状況

## <概要図>



## <セルビアの主な対応>

- 2022年2月24日 ロシアによるウクライナ侵攻  
 2月25日 ブチッチ大統領会見
- ①ウクライナを含むあらゆる国の主権と領土的一体性を尊重
  - ②対ロシア制裁には不参加
  - ③軍事的中立性の維持を重要視
  - ④引き続きEU加盟を目指す
- 3月2日 国連総会においてロシア非難決議に賛成  
 一方、対ロシア制裁には引き続き不参加
- 3月24日 国連総会においてウクライナの人道状況の改善に係る決議に賛成
- 4月7日 国連総会においてロシアの人権理事会資格停止に関する決議に賛成
- 10月12日 国連総会においてウクライナにおけるいわゆる「住民投票」に関する非難決議に賛成
- 11月14日 国連総会においてロシアに賠償求める決議について棄権
- 2023年2月23日 国連総会においてウクライナの平和に関する決議に賛成

### 【対ウクライナ支援】

国際機関を通じた計300万ユーロの人道支援のほか、エネルギー分野での支援（変圧器19台等の供与）等を実施。

## <対ロシア制裁への不参加の理由>

- セルビア政府は、主に下記理由から対ロシア制裁に不参加の立場を維持。
- ①天然ガス供給を中心に対ロシア依存度が高く、エネルギーの安定的確保が必要。
  - ②EU加盟国ではないため、EUから財政的支援を受けられない。
  - ③セルビアも経済制裁を受けた過去があり、国民が苦しんだ経験を有しているため、制裁について国民から支持を得ることが困難。

# セルビアを取り巻く国際政治状況 3

## 地域協力の推進はEU加盟と共にセルビア外交の優先課題

地域諸国間の和解に積極的なブチッチ大統領の働きもあり、クロアチア、ボスニア・ヘルツェゴビナ、コソボ等との関係改善に向けた動きが進んでいるが、民族間の対立感情は根強い。セルビアのほか、モンテネグロ、ボスニア・ヘルツェゴビナ、北マケドニア、コソボ、アルバニアもEU加盟を指向(いわゆる「西バルカン」6カ国)。ブチッチ大統領は、アルバニア及び北マケドニアとともに、西バルカン地域での、物・サービス・人・資本の域内移動の自由を認める枠組みであるオープン・バルカン(旧ミニ・シェンゲン)を創設、その整備及び拡大に向け調整を続けている。

The map shows the Western Balkans region with the following countries labeled: ハンガリー (Hungary), ルーマニア (Romania), クロアチア (Croatia), セルビア (Serbia), ボスニア・ヘルツェゴビナ (Bosnia and Herzegovina), モンテネグロ (Montenegro), コソボ (Kosovo), アルバニア (Albania), 北マケドニア (North Macedonia), イタリア (Italy), and ブルガリア (Bulgaria). Serbia is highlighted in yellow.

**クロアチア**  
・かつての紛争当事国  
・歴史問題  
・クロアチア国内セルビア人の扱い

**ボスニア**  
・かつての紛争当事国  
・スルプスカ共和国側との関係は良好

**モンテネグロ**  
・2006年にセルビア・モンテネグロから独立

**コソボ**  
・旧ユーゴ時代からセルビアの自治州であったが、2008年に独立宣言、セルビアは承認せず。  
・北部にはセルビア系住民が在住。  
・EU仲介の下、コソボとの関係正常化に向けた対話を実施中。  
・2020年には米国の仲介で「経済関係正常化」に合意。  
・2023年2月、関係正常化に向けたEU案に双方が同意。今後、関係正常化に向けた双方の取組が期待される。

# 経済概況 1

- (1)セルビア経済は、GDPが欧州債務危機以前のレベルまで回復し、緩やかな成長を見せ、成長率は2017年2.1%、2018年4.5%、2019年4.3%とプラス成長を維持していた。2020年においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、成長率は-0.9%だったが、セルビアにおける迅速なワクチン接種などの感染対策や後記(3)の経済支援策などにより、**2021年は7.5%の成長率を達成し、2022年はロシアによるウクライナ侵攻の影響等を踏まえ、2.3%(推計)、2023年は2.5%の成長率と予測されている。**
- (2)IMFの支援を受け支出削減努力を続けた結果、2017年に単年度で財政黒字を達成した。その後、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、2020年以降財政赤字が続いているが、赤字幅は減少傾向にある。2019年以降、経済刺激策の主要な柱として公共投資の拡大に力を入れている。また、政府による後押しもあり、**外国直接投資の流入**は増加傾向にあり、**2022年には44億ユーロと過去最大となった。**
- (3)新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に対する経済対策としては、中小企業に対する資金支援、納税期限の延期など2020年以降3回にわたり、総額約80億ユーロ(約9750億円)に上る経済支援策を打ち出した。
- (4)エネルギー分野を中心に国営・公営企業の整理・民営化、公的部門の構造改革は、喫緊の課題となっている。不良債権処理、公的債務のマネジメント、若年層失業率も長期的課題であるが、年々改善がみられる。
- (5)国内産業は、自動車及び部品、機械製造等の製造分野、電力、ガス等のエネルギー分野が主要分野であり、農業分野もポテンシャルが高い。近年急成長が目立つのはIT産業である。
- (6)経済分野において中国の存在が年々拡大している。中国公的機関の融資による高速道路、橋、鉄道(ベオグラード・ブダペスト高速鉄道など)等のインフラ事業、中国企業による大型国営企業(スメデレボ製鉄所、RTBボール鉱山)の買収などに顕著に示される。

# 経済概況 2

(1) 財政：財政収支は2017年以降、政府による支出削減、徴税の強化等により、単年度での財政黒字化を達成したが、2020年以降、新型コロナウイルス感染症の感染拡大への対応などのため、歳出が拡大し、財政赤字となっている。ただし、赤字額は減少傾向にあり、2022年における財政赤字対GDP比は約3%となっている。

(単位：ディナール)

	2018	2019	2020	2021	2022
歳入	1兆1,791億8,448万	1兆2,745億7,734万	1兆2,574億3,674万	1兆4,653億7,171万	1兆6,802億9,230万
歳出	1兆1,470億50万	1兆2,618億2,524万	1兆7,165億4,360万	1兆7,514億4,863万	1兆9,154億5,969万
(歳入－歳出)	321億8,398万	127億5,210万	△4,591億686万	△2,860億7,692万	△2,351億6,739万
収支対GDP比	0.6%	0.2%	-8.0%	-4.1%	-3.1%

出典：セルビア財務省

(2) 経済成長：2018年及び2019年は4%超の成長だったが、2020年に新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、0.9%のマイナス成長。その後、2021年に7.5%の成長率を達成し、2022年は、ロシアによるウクライナ侵攻の影響等を受け、2.3%の成長率と推計されている。

(単位：ユーロ)

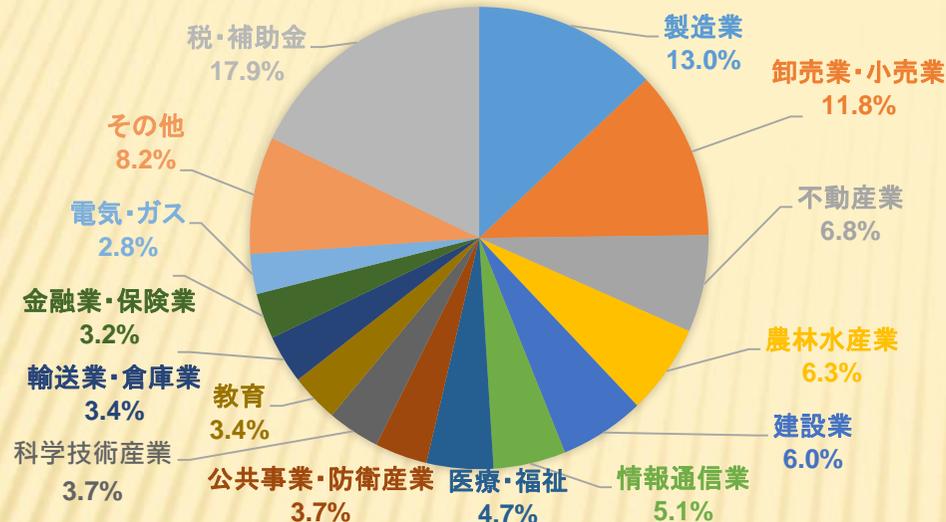
	2018	2019	2020	2021 (※)	2022 (※)
GDP	428億9,220万	460億500万	468億1,500万	533億2,900万	603億6,800万
一人当たりGDP	6,143	6,624	6,786	7,803	8,917
実質成長率	4.5%	4.3%	-0.9%	7.5%	2.3%

※2021年のデータは暫定値、2022年のデータが推計値である。

出典：セルビア財務省

# 経済概況 3

## GDPに占める産業別構成(2021年)



出典:セルビア統計局

(3)インフレ率:2020年まで物価上昇は1~3%であったが、2021年に世界的なエネルギー価格及び食料価格の高騰により7.9%に上昇し、2022年には15.1%に上昇。セルビア政府、中央銀行はインフレ目標率を3.0%(±1.5%)に設定しているところ、中央銀行では2023年第一四半期をピークとして、下落に転じ、2024年半ばにはインフレ目標値に落ち着くと予測。

出典:セルビア財務省

	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
年間上昇率	1.6%	3.0%	2.0%	1.9%	1.3%	7.9%	15.1%

(4)失業率:全体失業率は2020年まで緩やかな下落傾向、若年失業率は低下傾向にあるが依然として高水準。

	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
失業率	15.3%	13.5%	12.7%	10.4%	10.1%	11.0%	9.4%
うち若年失業率 (15-24歳)	34.9%	31.9%	29.7%	27.5%	27.7%	26.4%	24.4%

出典:セルビア統計局

# 貿易 1

## (1) 貿易収支

輸出額及び輸入額共に増加傾向にある。貿易収支は、輸入超過の状態が恒常化しており、赤字が拡大傾向にある。

(単位：ユーロ)

	2017	2018	2019	2020	2021	2022
貿易総額	344億4,680万	382億70万	414億 1,170万	400億 1,210万	507億 9,330万	666億1,340万
輸出	150億5,080万	162億8,200万	175億3,640万	170億5,450万	218億5,800万	276億470万
輸入	193億9,600万	219億1,870万	238億7,530万	229億5,760万	289億3,530万	390億870万
貿易収支 (輸出－輸入)	△43億4,520万	△56億3,660万	△63億3,890万	△59億300万	△70億7,730万	△114億400万
						出典：セルビア財務省

# 貿易 2

(2) 主要貿易相手国：EU（ドイツ、イタリア）、近隣諸国（ボスニア・ヘルツェゴビナ、ハンガリー）及びロシア等の貿易協定締結国。近年、対中貿易額が急拡大している。

(単位：USD)

2022年1 - 12月		貿易総額	輸出額	輸入額	輸出－輸入
1	ドイツ	86億6,970万	39億7,730万	46億9,240万	△7億1,510万
2	中国	61億4,890万	11億6,650万	49億8,240万	△38億1,590万
3	イタリア	48億3,040万	21億320万	27億2,720万	△6億2,400万
4	ロシア	42億7,830万	11億9,450万	30億8,380万	△18億8,930万
5	ハンガリー	38億9,420万	15億7,880万	23億1,540万	△7億3,660万
6	ボスニア・ヘルツェゴビナ	34億5,280万	21億6,690万	12億8,590万	8億8,100万
7	トルコ	25億8,640万	4億5,500万	21億3,140万	△16億7,640万
8	ルーマニア	24億1,410万	12億8,070万	11億3,340万	△1億4,730万
9	ポーランド	22億330万	9億6,560万	12億3,770万	△2億7,210万
10	クロアチア	21億5,000万	12億670万	9億4,330万	2億6,340万
					出典：セルビア統計局

# 貿易 3

## (3) 主たる貿易対象品目：

輸出では送配電機材、銅等、輸入では石油や天然ガス等のシェアが多い状況にある。

2022年1-12月	輸 出	輸 入
1	送配電機材（6.5%）	石油・鉱物油（7.4%）
2	銅（6.1%）	天然ガス（4.3%）
3	モータ等回転電気設備・部品（3.8%）	電力（4.1%）
4	自動車用タイヤ（3.2%）	医薬品（3.1%）
5	電力（3.1%）	アルミニウム（1.7%）
6	鉄・非合金鋼圧延品（2.5%）	自動車（1.6%）
7	家具等（2.5%）	送配電機材（1.6%）
8	フルーツ（2.3%）	電子機器（1.6%）
		出典：セルビア統計局

# 貿易4

## (4) 我が国との二国間貿易：

2012年以降、セルビアの輸出超過の状態が続いている。日本の主な輸出品目は、機械類、電子部品、合成ゴム、自動車。セルビアの主な輸出品目は、タバコ(現在の対日輸出額の約9割を占める)、化学製品、果実等。

	2017	2018	2019	2020	2021	2022
貿易総額	329億2,892万円	427億7,821万円	403億1,819万円	672億1,935万円	876億260万円	803億2,024万円
輸出	15億9,603万円	25億8,875万円	23億5,653万円	21億777万円	50億2,417万円	66億1,094万円
輸入	313億3,289万円	401億8,946万円	379億6,165万円	651億1,158万円	825億7,843万円	737億930万円
日本から見た収支バランス (輸出－輸入)	<b>△297億3,686万円</b>	<b>△376億71万円</b>	<b>△356億512万円</b>	<b>△630億382万円</b>	<b>△775億5,425万円</b>	<b>△670億9837万円</b>

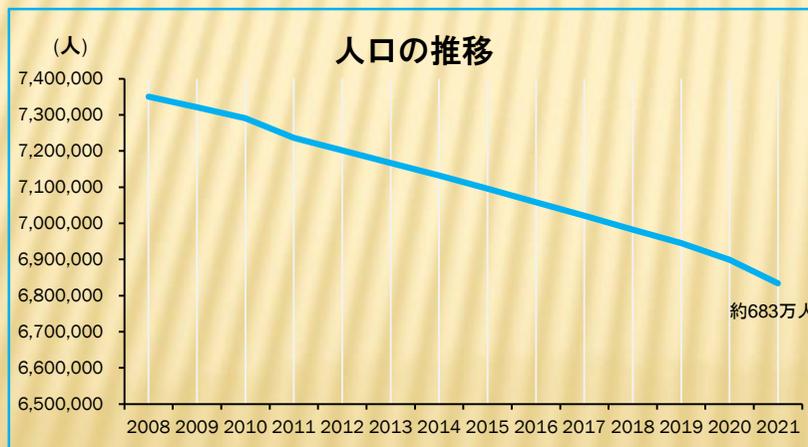
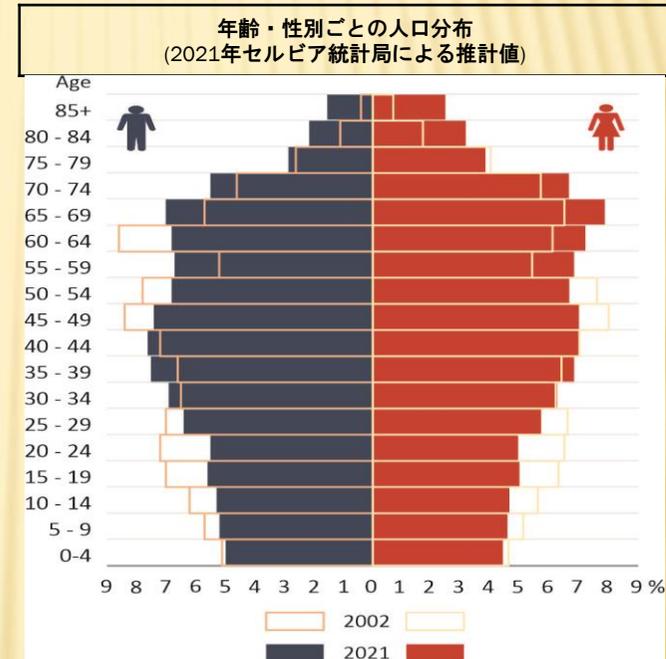
出典：日本財務省（数字は日本から見た輸出・輸入額）

# 人口

セルビアでは、少子高齢化、人口減が進む傾向にある。

	合計	割合（%）
総人口	6,834,326	100
性別		
男性	3,327,001	48.68
女性	3,507,325	51.32
年齢層		
0-14	977,124	14.30
15-64	4,402,974	64.42
65歳以上	1,454,228	21.28
平均年齢	43.5	
平均寿命		
男性	70.0	
女性	75.6	

出典：セルビア統計局



出典：セルビア統計局

# 治安

## (1) セルビアの国内治安は安定

ア 近年セルビア国内において、銃犯罪が発生した例はあるものの、民族・宗教対立を理由とする暴動やテロ行為は発生していない（スリヤ置き引きなどには通常の注意が必要。）。日本人や日本権益を標的とした犯罪は発生しておらず、また、ロシアによるウクライナ侵攻以降も治安は安定している。

イ セルビア南部、コソボとの国境付近の都市（メドベジャ市、プレシェボ市、ブヤノバツ市）には、セルビア系住民とアルバニア系住民が混在する地域があり、当該地域へ渡航する際には、民族に関する話題などを避ける等の注意を要する。

## (2) 危険情報

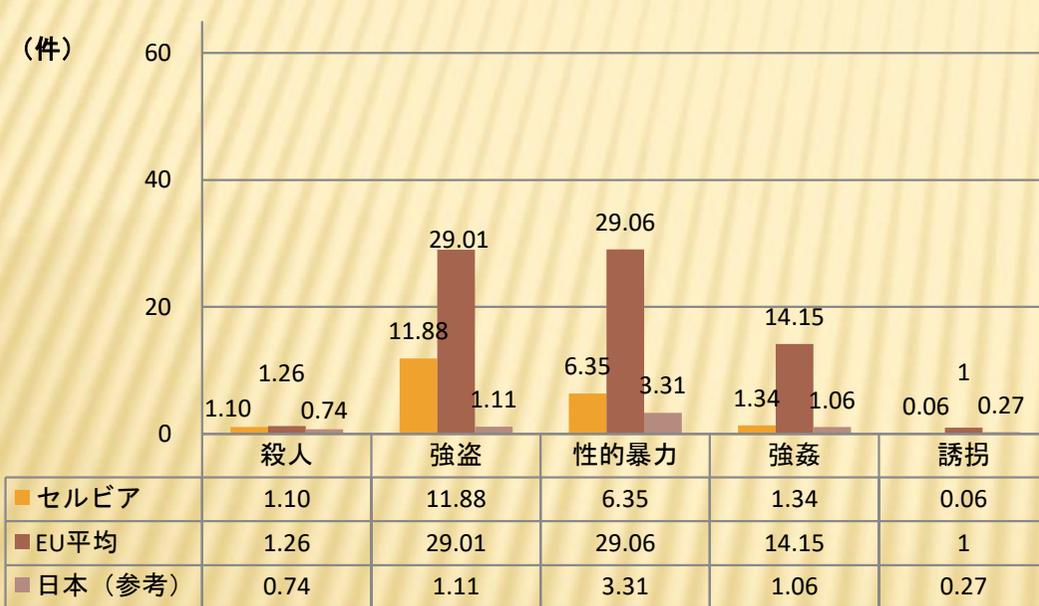
2023年5月現在、上記(1)イの3市についてレベル1（十分注意）。

# 治安

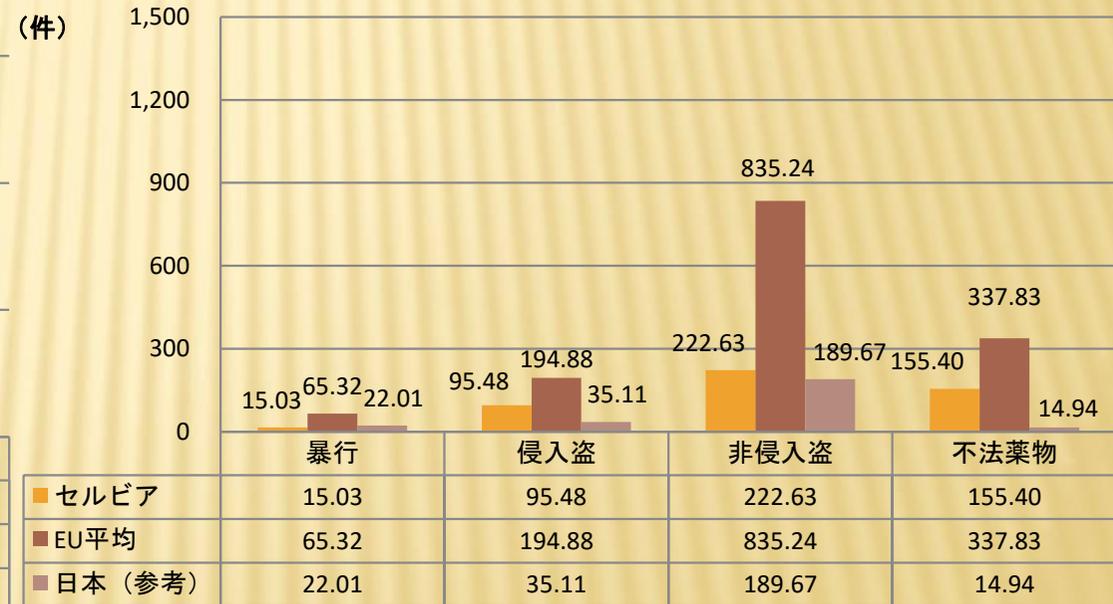
## (3) セルビアの犯罪発生件数

セルビアは、凶悪犯罪及びその他の犯罪の多くで、EU加盟国平均を下回っている。

人口10万人当たりの犯罪発生件数(凶悪犯)



人口10万人あたりの犯罪発生件数(その他犯罪)

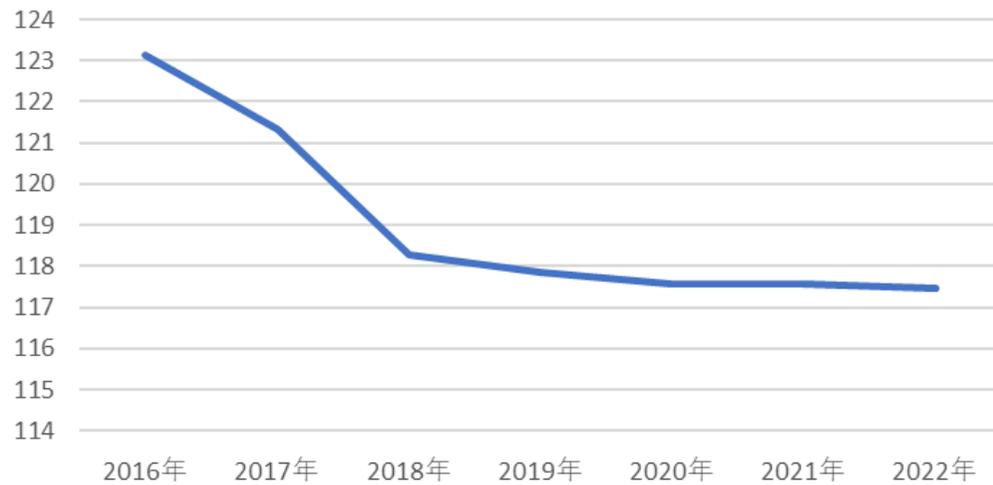


出典:ユーロスタット、警察庁、犯罪白書

(注:数字は2020年のもの。件数は認知件数(但し、日本の不法薬物事犯は検挙件数)に基づく。日本は統計方法が異なるため、参考とした。)

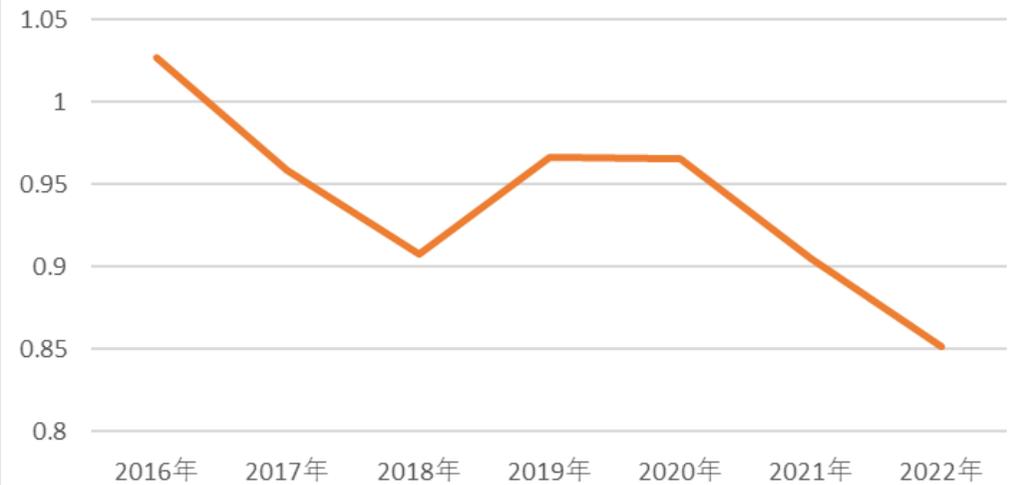
# 為替レート

為替レート (EUR/RSD)



ユーロ/ディナール為替レート

為替レート (JPY/RSD)



円/ディナール為替レート

出典:セルビア国立銀行

# 法人税・付加価値税

国名	法人税	付加価値税 (VAT)
セルビア	15%	20%
ハンガリー	9%	27%
クロアチア	18%	25%
スロベニア	19%	22%
チェコ	19%	21%
ポーランド	19%	23%
スロバキア	21%	20%

出典：セルビア政府、EU資料及びOECD公表データ

# セルビアに進出している主要外国企業

コンチネンタル（独）	自動車部品	シーメンス（独）	電気機械類	NCR（米）	ATM等
ノーマグループ（独）	自動車部品	ハイネケン（蘭）	ビール飲料	ZUMTOBEL （オーストリア）	照明機器
ハッチンソン（仏）	自動車部品	カルスバーグ（デンマーク）	ビール飲料	MICROSOFT（米）	ソフトウェア
フィアット（伊）	自動車	ネスレ（スイデン）	加工食品製造	BOSCH（独）	電化製品
クーパータイヤ（英）	タイヤ	デレズ（ベルギー）	食品卸小売	SITEL（米）	アウトソース事業
ジョンソンエレクトリック（中）	自動車部品	ファルケ（独）	アパレル	BALL（米）	パッケージング
レオーニ（伊）	自動車部品	イケア（スイデン）	家具小売	GORENJE （スロベニア）	電化製品
ミシュラン（仏）	タイヤ	テトラ・パック （スイデン）	包装容器	TRELLEBORG （スイデン）	ポリマー技術
ユラ（韓）	自動車部品	Linglong Tires （中国）	タイヤ		

※日本企業を除く。

出典：セルビア開発庁作成資料

# 日本企業進出状況（投資事例）



社名 (製品)	製品	進出都市	進出年
①JTI	紙巻きたばこ	センタ	2006
②矢崎総業	自動車部品	シャバツ	2017
③ハイレックス	自動車部品	ルムカ・ミトロ ビカ	2017
④関西ペイント(リカ)	塗料	トビ・ミラバツ	2017
⑤伊藤忠商事	廃棄物処理 発電事業	ベオグラード	2017
⑥伊藤忠商事 (Dole Asia Holdings経由)	加工食品	ベオグラード	2017
⑦前川製作所	冷蔵・冷凍装置	スメデレボ	2019
⑧TOYO TIRE	タイヤ	インジャ	2020
⑨ニデック	モータ	ノビ・サド	2021

# 日本企業進出状況（業種的分布）

（製造業及びその他以外の業種は販売網のみ）

業種	日本企業数
製造業	9（JTI、矢崎総業、TOYO TIRE、前川製作所、ハイレックス、関西ペイント、三菱パワー、ニデック、ニデックエレシス）
製薬	2（タケダ、アステラス）
医療機器	2（ニプロ、オリンパス）
印刷機器	2（キヤノン、コニカ・ミノルタ）
ITソリューション、ソフトウェア	2（NTTデータ、SRAホールディングス）
総合商社	2（三菱商事、伊藤忠商事）
自動車販売	1（トヨタ）
電子機器	2（ソニー、島津製作所）
エンジニアリング	1（横河電機）
その他	7

# セルビア日本商工会（JBAS）



<http://jbas.rs/>

連絡先情報末尾記載

セルビア日本商工会（Japan Business Alliance in Serbia, JBAS）は、セルビアで現在事業を行っている日本企業、日本製品を販売しているセルビア企業、日本・セルビア間の取引を検討する企業などを支援することを目的に2017年3月に設立された団体。

会員企業数 約50社（2023年5月現在）

主な会員企業：JTI、矢崎総業、TOYO TIRE、三菱商事、伊藤忠商事、NTTデータ、SRAホールディングス、タケダ、ニプロ、テルモ、横河電機、トヨタ、欧州みずほ銀行等

世界各地に存在する日本商工会の一つとして日本商工会議所のウェブサイトに記載されている。

<https://www.jcci.or.jp/international/jcci-overseas.html>

# 日・セルビア経済関係の最近の主な動向

- ・2021年 1月 **竹中工務店**の現地法人ヨーロッパ竹中は、セルビア支店の設立を公表
- ・2021年 3月 **みずほ銀行**は、セルビア開発庁との間で日系企業の進出支援に関する業務協力覚書を締結
- ・2021年 8月 **伊藤忠商事**のセルビアにおける投資事業(廃棄物処理発電事業)について、廃棄物処理・リサイクルサービスを開始
- ・2021年10月 **日本通運**の現地法人ドイツ日本通運は、ベオグラード支店の開設を公表
- ・2021年12月 **日・セルビア租税条約**の発効
- ・2022年10月 **JETRO**は、セルビアへのビジネスミッションを派遣
- ・2022年12月 **JTI**は、セルビアのたばこ製造工場への新規投資を公表
- ・2022年12月 **TOYO TIRE**は、セルビアの乗用車用タイヤ新工場の開所式を開催
- ・2023年 2月 **武田薬品工業**のセルビア拠点は、セルビア政府との間で希少疾患に係る診断の向上を目的とした協力に関する覚書を締結
- ・2023年 5月 **ニデック**は、セルビアの車載用モータ新工場の開所式を開催  
**ニデックエレシス**は、セルビアの車載向けインバータ新工場の開所式を開催

# セルビア投資のメリット1

## (1) 安価な労働賃金

セルビアの平均賃金は、2022年の統計で880ユーロ/月(税引き前)であり、日本企業が多く進出しているポーランド、チェコなどに比べて安価である。

## (2) 優秀な労働力

セルビアの高等教育の水準は経済発展度に比して高く、優秀な人材の確保が期待できる。セルビアに進出した日本企業及び外国企業からのセルビアの労働者に対する評価が高い。

また、英語が堪能な国としても知られている(ネットでの英会話教室の講師にセルビア人が多い。)

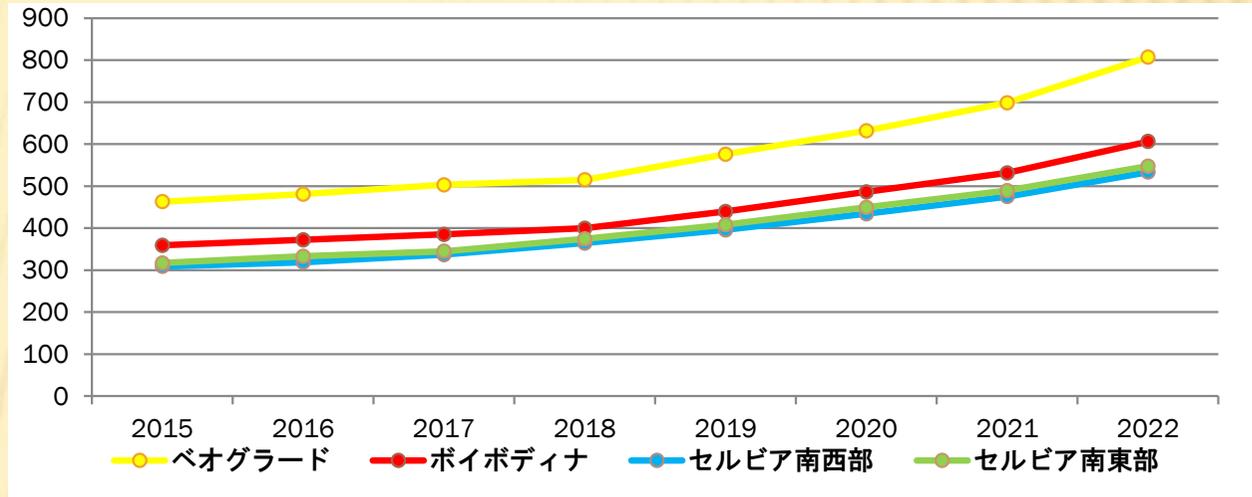
## (3) 地理上のメリット

セルビアは、南東欧ヨーロッパに位置し、西ヨーロッパ、ロシア、トルコなどにアクセスが良く貿易を行う上で立地条件に優れた国と言われている。

# セルビア投資のメリット2（セルビアの賃金）

## (1)セルビア地域別平均賃金（月当たり、税引き後）

（単位：ユーロ）



## (2)平均賃金（周辺国との比較、税引き前、2022年）

出典：セルビア統計局  
元データはRSD

国	賃金（ユーロ）
セルビア	880
ブルガリア	900
ルーマニア	1,249
ハンガリー	1,278
スロバキア	1,304
ポーランド	1,354
チェコ	1,643

出典：The Vienna Institute  
for International Economic  
Studies

# セルビア投資のメリット 3

## (1) 奨励金制度

輸出に結びつくような製造部門への投資案件を中心に奨励金が与えられている(詳しくはセルビア開発庁と個別に相談)。

## (2) 法人税免除

企業が100人以上を新規雇用し、かつ10億ディナール(約850万ユーロ)以上投資した場合、法人所得税が10年間控除される。控除は企業が利益を出した時点から有効。

## (3) 社会保険料の軽減制度

公共職業安定所に6ヶ月以上登録された失業者を雇用した場合、雇用規模に準じて、雇用時点から社会保険料が軽減される。

新規雇用 1人～9人 : 65%控除

新規雇用 10人～99人 : 70%控除

新規雇用 100人以上 : 75%控除

(社会保険料軽減制度は、奨励金制度と組み合わせて利用することはできない。)

# セルビア投資のメリット4

## 経済特区(フリーゾーン)

- ・特区内で操業する企業に関し、諸税(VAT、原材料の輸入、輸送・エネルギーなどにかかる税、設備投資・工場建設にかかる税)を免除する。

- コストをおさえて製造を行うことが可能(材料を輸入し、セルビアで製造、出荷) 高価な部品を組み立てる自動車製造などに適する

- EU、ロシア、トルコなど、セルビアとFTAを結んでいる各国への輸出拠点となる(原材料を輸入、セルビアで製造し輸出)

- ・セルビアに投資する国外の製造業の企業は、ほとんどがフリーゾーンで操業  
矢崎総業(シャバツ) 前川製作所(スメデレボ)、  
TOYO TIRE(インジャ)、ニデック(ノビ・サド)  
フィアット(伊:クラグイエバツ) ミシュラン(仏:ピロト) など

- ・セルビア国内には、現在15カ所のフリーゾーンが存在。

フリーゾーン所在地地図→  
(ピロト、スポティツァ、ズレニヤニン、ノビ・サド、クラグイエバツ、  
シュマディヤ(クラグイエバツ)、シャバツ、ウジツェ、スメデレボ、  
クルシェバツ、スピライナツ、アパティン、ブラニェ、プリボイ、ベオグラード)



# 周辺市場へのアクセス

## (1) EU諸国

EUは西バルカン地域の国々と協定を締結し、EU諸国との貿易に係る関税は多くの分野で撤廃されている。(Stabilization and Association Agreement)。

## (2)セルビア周辺地域

セルビア、北マケドニア、モンテネグロ、ボスニア・ヘルツェゴビナ、アルバニア、モルドバ、コソボとの間で自由貿易協定が締結されている(CEFTA)。

## (3)ロシア

セルビアは、CIS以外の国で唯一ロシアと自由貿易協定を締結している。

## (4)トルコ、カザフスタン、ベラルーシ

セルビアは上記国ともFTAを締結。

## (5)EFTA地域

セルビアは、ノルウェー、スイス、アイスランド、リヒテンシュタインとの間で自由貿易協定を締結している(EFTA)。

## (6)EAEU(ユーラシア経済連合; The Eurasian Economic Union)

セルビアとEAEUの自由貿易協定は2019年10月25日に署名され、2021年7月発効。  
EAEUメンバー国はアルメニア、ベラルーシ、カザフスタン、キルギス、ロシア。

# 西バルカン地域市場へのアクセス

## セルビアは西バルカン地域への進出に当たっての拠点となる国

- ・セルビアは、EU非加盟の西バルカン諸国（セルビア、モンテネグロ、ボスニア・ヘルツェゴビナ、コソボ、北マケドニア、アルバニア）の中で①貿易額、②対内直接投資額、③GDPにおいて最大。
- ・セルビアは、西バルカン諸国において、外国投資が最も進んでいる国。
- ・セルビアのベオグラードには、旧ユーゴスラビアからの首都機能、行政機能が残っている。

# セルビアから見た日本

## (1) 日本からの経済援助：

- ・ 2020年度までの経済援助の総額約572億円
- ・ 象徴的な経済援助：ベオグラードの市内交通バス（黄色いバス）。
- ・ 環境、保健、民間セクター開発を中心に技術協力、有償、無償支援を実施。

## (2) 日本からの直接投資額：

- ・ 2010年以降の直接投資の総額約3億8000万ユーロ

(セルビア国立銀行データ)

- ・ 2018年1月、安倍総理（当時）が表明した「西バルカン協力イニシアティブ」は、EU加盟を目指すセルビアを含む西バルカン諸国の経済社会改革を支援することなどを目的とし、日本企業進出の後押しをすることなどを具体的な施策とする。2022年、日本からの直接投資額は過去最大を記録。

(3) セルビアは、政府レベルから市民まで非常に親日的。日本の文化・武道の愛好者も多い。

(4) 査証：入国後90日以内の滞在は、査証免除

# セルビアに進出するに当たっての窓口1

## 投資環境・投資奨励金・投資地域などに関する 相談

### ・セルビア開発庁（RAS）

Kneza Milosa 12, 11000 Belgrade,  
Serbia

Tel: + 381 11 3398 900

Email: [office@ras.gov.rs](mailto:office@ras.gov.rs)

[www.ras.gov.rs/en](http://www.ras.gov.rs/en)



セルビア開発庁へのご相談は、在京セルビア大使館から行うことも可能。

### ・在京セルビア大使館

東京都港区高輪4-16-12

Tel: 03- 3447-3571

Email: [japanese.tokyo@mfa.rs](mailto:japanese.tokyo@mfa.rs)（日本語でのお問合せ可）

[www.tokyo.mfa.gov.rs/jpn/](http://www.tokyo.mfa.gov.rs/jpn/)

# セルビアに進出するに当たっての窓口2

## セルビアにおける日本企業等の団体

- ・セルビア日本商工会（JBAS）日本商工会議所ウェブサイト上では在外日本人商工会議所と紹介されている。

Zmaj Jovina 5/III, 11000 Belgrade, Serbia

Tel: +381 64 8015 775

Email: [office@jbas.rs](mailto:office@jbas.rs) (問い合わせは英語)

[www.jbas.rs/](http://www.jbas.rs/)



## セルビアの会社、取引先開拓などに関する相談

- ・セルビア商工会議所

Resavska 13-15, 11000 Belgrade, Serbia

Tel: +381 11 33 00 910

Email: [bis@pks.rs](mailto:bis@pks.rs)

[www.pks.rs](http://www.pks.rs)



# セルビアに進出するに当たっての窓口3

## セルビア投資に関する日本語での相談

### ・ ジェトロ・ブダペスト事務所

1051, Budapest, Bajcsy-Zsilinszky út 12, HUNGARY

Tel: +36-1-266-7687

Email: [Budapest@jetro.go.jp](mailto:Budapest@jetro.go.jp)

[www.jetro.go.jp/hungary/](http://www.jetro.go.jp/hungary/)

The logo for JETRO (Japan External Trade Organization) is displayed in a white box. It consists of the word "JETRO" in a serif font.

## セルビアに関する総合的な問い合わせ

### ・ 在セルビア日本大使館

Tresnjinog Cveta 13, 11070 Novi Beograd, Serbia

Tel: +381 11 301 2800

Email: [economy@s1.mofa.go.jp](mailto:economy@s1.mofa.go.jp)

[www.yu.emb-japan.go.jp/itprtop\\_ja/index.html](http://www.yu.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html)



Japanska ambasada u Srbiji  
Embassy of Japan in Serbia

# ご注意

---

- ・ 本資料の作成には、できる限りの正確性を期すよう努めましたが、100%の正確性を保証するものではありません。本情報の採否はご利用者自身で確認の上、ご利用者の判断・責任の下行って下さい。